

# 古城第4やなぎ会 (前沢古城地区)

古城4区の単位老人クラブ『古城第4やなぎ会』では、会則の新設や新たな会員区分を設けるなど独自の取り組みをして、活動を活性化させています。

## 基本情報

会長	小野寺 稔 会長
事務局	亀井 涼一 副会長兼事務局 岩淵 京子 副会長
活動内容	総会（日帰り温泉旅行） 小山公民館清掃・駐車場草刈り 夏祭り輪投げ大会主催 夢灯り作成 子供会花壇手入れ
会員区分	普通会員 古城やなぎクラブ協議会（地区）、古城第4やなぎ会（行政区）両方に所属 会員 12名 <sup>※</sup> 前沢全体の行事（新年会・お花見会・ニュースポーツ大会・パークゴルフ大会・旅行会）、 古城全体の行事（新年会・グランドゴルフ大会・旧古城小学校グラウンドの草取りボランティア）、 古城第4やなぎ会行事に参加
	4区限定会員 古城第4やなぎ会に所属し、4区の活動にのみ参加 会員 14名 <sup>※</sup> （最高齢93歳）
	スポンサー会員 資金面で古城第4やなぎ会を支援 会員 5名 <sup>※</sup> やなぎ会の活動には参加できないが高齢者の社会活動に理解のある方々
会則	有り
財源	会費・古城4区助成金・古城小山公民館助成金 地域の各団体からの寄付

※会員数は令和3年7月現在

## 会員区分を設けたきっかけ

- 高齢になり活動に参加できない会員が老人クラブを脱退し、会員数が大幅に減少したことに危機感を感じた。
- 会費1,500円のうち1,300円は古城やなぎクラブ協議会の収入になり、第4やなぎ会には200円が戻る仕組みに疑問を持った
- 前沢全体や古城地区全体の行事に参加できない会員もいる
- 市老連から脱退する単位老人クラブが増えているが、脱退して活動をやめてしまうのではなく、単位老人クラブを継続する方法がないかを話し合った

## 特 徴

- 80代が会員の半数を占めていたが、役員には60代～70代前半の若手が就任
- 会則を新設し、全戸回覧で周知。会員だけではなく地区住民が老人クラブへの認識を共有できるようにした
- 会員区分を設け、会員が活動に参加しやすい環境づくりをした  
体力的に地域や地区での活動が難しい会員が、4区地内での行事や奉仕活動にのみ参加する道を開いた。
- 古城第4やなぎ会の役員が、戸別訪問による入会勧誘を行った
- 世代間交流等の活動を盛り込み活性化されている（夢灯り作成と夏祭り輪投げ大会）  
夏祭りには第4やなぎ会の会員と子どもたちがペアで参加。地域に住む子ども以外に帰省している子どもたちも参加OKにしている。

## 活 動 の 様 子

### ★教養講座とボランティア活動



左) 教養講座は年2回程度開催している

右) 小山公民館の清掃ボランティア活動の様子

### ★世代間交流の夢灯り作成と沿道への設置



左) 手作りの夢灯り作成の様子

右) 小山公民館前の明後沢川沿いに夢灯りを設置

## 今 後 の 展 望

- ・世代間交流を増やし、さらに活発化させたい
- ・ごぜん茶と老人クラブの活動を一元化し、次の世代が運営しやすいようにしたい